

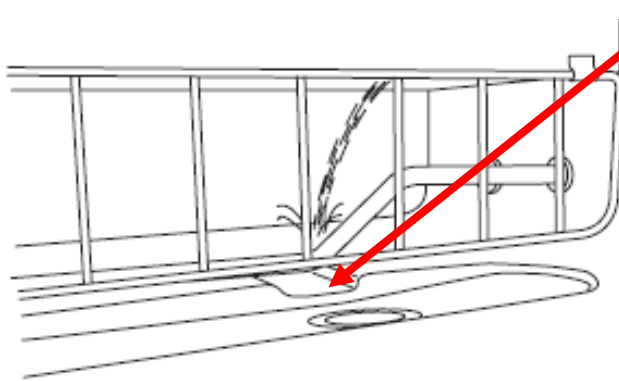
加湿皿水位調整に関して、以下3手順に分けて記載します

- ① 現状の「加湿皿水位」確認
- ② 加湿皿水位調節器の調整手順
- ③ アジャスタフットの調整手順（装置水平調整）

不明点は、ご連絡ください。

## ① 加湿皿水位確認手順

- ① 加湿運転を開始する。（20℃1% 設定など）
- ② この水位で、(1)加湿ヒーターが露出していないこと、(2)手前の排水口に水が溢れていないことを確認してください。
- ③ 次に、設定値を 20℃90%等に設定して運転すると、3分程度で水が沸騰します。その時、沸騰した水泡が手前の排水口に溢れない事を確認してください。



格子状柵の下に2か所  
溝を切ってます。

その溝から、加湿皿の沸騰した  
水が手前の排水口に溢れない  
かどうか確認をお願いします。

図 7.13 水の落下確認

## ② 加湿皿水位調節器の水位調整手順

### 水回路室(排熱室)

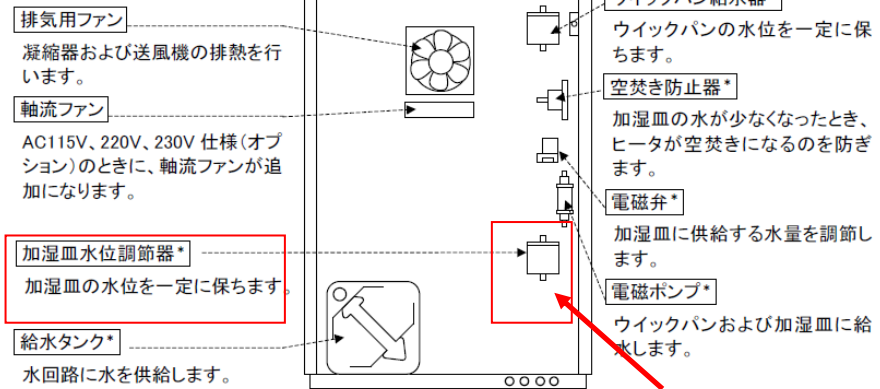


図 2.3 各部の名称とその働き(水回路室(排熱室))

## 加湿皿水位調節器の水位確認

加湿皿に供給された水の水位が適切であることを、加湿皿水位調節器によって確認します。

**お願い** 主電源スイッチをONにしたままで水回路室扉(排熱室扉)を開くと、安全装置が働き主電源スイッチが落ちます。水回路室扉(排熱室扉)を開くときは、必ず主電源スイッチをOFFにしてください。

- 手順**
1. 装置右側面の水回路室扉(排熱室扉)を取りはずします。
  2. 加湿皿水位調節器の水位が「WATER LEVEL FOR HUMIDIFIER」の線にあることを確認します。

① 調整ネジを緩めて、加湿皿水位調節器を本体毎下げる。(2~3mm程度)

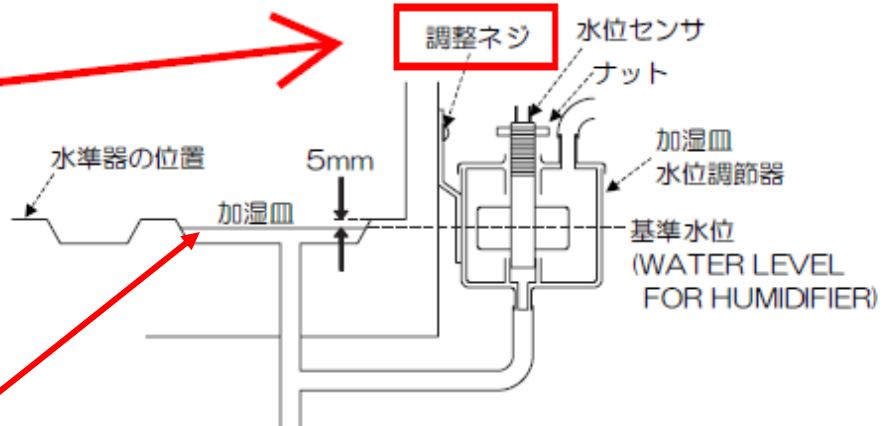


図 4.13 加湿皿と加湿皿水位調節器の関係

加湿皿の水位は、加湿ヒーターが露出せず、また格子状の柵を越えて加湿皿手前の排水口に溢れない量に調整してください。

3. 水回路室扉(排熱室扉)を閉めます。

### ③ アジャスタフットの調整

装置の床面 4 隅には、それぞれアジャスタフット(固定する為の足)がついています。

そのうち装置正面にある  
左右 2 か所のアジャスタフットを  
少し持ち上げる

これにより、加湿皿手前の排水口に溢れにくくなります。

